

# 大牟田市立宅峰中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、問題解決力、体系的な思考力（問題や現象の背景の理解、多面的・総合的なものの見方）を育てることをねらいとし、総合的な学習の時間の「学びの旅」や生徒会活動の取り組みを通して持続可能な発展に関する価値観（人間の尊重、多様性の尊重、非排他性等）を見いだす力を身につけるようにしている

また、各教科、道徳の時間、特別活動を通して、考え方や立場の違いを尊重しながら協働的に課題を解決したり、より良い人間関係をつくり出す力を身につけさせている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	単 元 名	具体的な活動内容
1 年	「地域の人に学ぶふれあい体験」 「名もなき人の心に学ぼう」	・10種類の体験講座を用意し、地域の人とふれあう体験活動を行う。 ・地域の歴史（炭鉱を中心に）調査体験学習を行う。
2 年	「働くことの意義を学ぶ地域職場体験」 「異文化の伝統や文化を知る」	・43の事業所に体験活動を行い、学んだことをまとめ発表する。 ・大牟田と京都の産業・歴史・文化の違いを調べ、修学旅行での自主研修や、他の見学体験からそれぞれの地域の良さを発表する。
3 年	「幼児とのふれあい体験」	・幼児とのふれあい体験活動を行い、思いやりの心を育て、発表する ・生命尊重と命の大切さについて考える。

## 3 特徴的な活動事例

<1年生：地域の人に学ぶふれあい体験>

目的：「地域とのつながり」について考え、実際に地域の人々を交流を深める。

期日：10月29日（木）

内容：10個の体験講座を開設し、地域の人との交流を持った。

①茶道入門②マジック③布小物づくり④押し花⑤絵手紙⑥折り紙⑦料理

⑧郷土玩具づくり⑨フラダンス入門⑩自然観察を午前中に体験し、学んだことをまとめていった。

○講座選定にあたって

講座の選定については、平成27年度生涯学習ボランティア登録派遣事業（まなばんかん）に登録のある方をお願いして学校まで来ていただいた。

## ○成果と課題

右の写真は⑩自然観察の最中で、校外に出て、植物を中心に観察した。身近な自然に興味を持ち観察しようとする態度を養うことができた。

右下の写真は②マジックを直接学び練習している場面である。10講座のどの講座も普段の授業では経験できないもので、貴重な体験となった。

特に、⑨フラダンス入門で練習した成果を、公民館での発表会で、できたことは地域の人との交流を深めることにつながった。発表は、どの講座も、学んだことを新聞にして、紙上発表し優秀作品を掲示した。

課題として、事前学習の方法、マナーの学ばせ方や事後の学習発表のやり方を工夫する必要がある。



### < 2年生：働くことの意義を学ぶ地域での職場体験 >

目的：働くことの意義を実際の職場で体験すること確かむ。

期日：10月29日（木）

内容：43の事業所に希望調査を元に生徒の体験場所をきめた。事前の学びとして働くことの意義について学んだ後、各事業所での職場体験学習を行った。どの事業所でも丁寧な指導をしていただき、有意義な活動となった。

体験後は、職場体験新聞を作成し、廊下に全員の新聞を掲示した。



## 4 成果と課題

- ・再編1年目で、生徒数が増加し体験事業所を探すことが大変であった。来年度からは今年度をベースに少しずつでも幅広い体験学習ができる場所を探していきたい。
- ・体験を経験した生徒達は、仕事の大切さと大変さを感じ、新聞にまとめ上げていた。しかしながら、事前事後の取り組みが、もっと充実したものになるよう、事前の取り組みを早い時期から行っていく必要性を感じている。
- ・今年度は1日のみの体験となったが、体験時間の再検討も必要であろう。そして、進路決定のための体験として位置づけていくことも必要と思われる。